

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成23年春号 VOL. 19



写真：暗く元気のなかった森林が明るく活力のある森林に生まれ変わりました（鹿沼市入粟野地区）
—とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業—



特集 「とちぎの元気な森づくり」県民バスツアーを実施しました

森のなかまたち 第8回 森の小さなハンター オコジョ



同じ仲間のフェレットを2回り位小さくした姿のオコジョは、見た目は愛嬌がありかわいらしい顔をしています。実は肉食でネズミや昆虫、時には自分より大きいウサギを襲うこともある森のハンターです。

オコジョの特徴は、衣替えをすることで、普段は褐色の毛皮を着ていますが、冬には純白の毛に被われます。この時期のオコジョはさらにかわいくなりますが、残念ながら見たことはありません。高い山に行かないと会えません。好奇心が強い動物なので、運が良ければにチョコチョコと走り回る姿が見られるかもしれませんよ。

特集 森づくりの現場に行ってみよう！

「とちぎの元気な森づくり」

県民バスツアーを実施しました

とちぎの豊かな森林を守り育て次世代に引き継ぐため、県や市町は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、さまざまな森づくりや人づくりに取り組んでいます。

これらの取り組みを県民のみなさんに知っていただき、森林の大切さについて理解を深めていただくため、県などは地区ごとにバスツアーを実施しています。

今回は、平成 22 年度中に実施されたバスツアーの様子を御紹介します。



県北地区

平成 22 年 11 月 25 日（木）、公募によりお集まりいただいた県北地区在住の方など 36 名に御参加いただき、次の 3 箇所を訪れました。

○塩谷町船生地区（とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業）

○塩谷町田所地区（民間企業による広葉樹林整備箇所）

○矢板市東泉地区（明るく安全な里山林整備事業《将来まで守り育てる里山林整備》）

塩谷町船生地区では、奥山林整備事業により間伐を実施し、伐採木を小中学校の学習用机・椅子に活用したヒノキ林を視察しました。矢板市東泉地区では、里山林整備事業で除伐などを行った広葉樹林の視察と落ち葉さらいの体験をしていただき、好評を博しました。

ツアーの終わりに実施したアンケートでは、事業への理解が深まったとの意見を多数いただきました。



落ち葉さらい体験
（矢板市東泉地区）

主催：矢板森林管理事務所
県北環境管理事務所
県民の森管理事務所

県南地区

平成 22 年 12 月 1 日（水）、足利市内の自治会役員のみなさん 17 名に御参加いただき、4 箇所を視察しました。

○足利市名草地区（とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業）、（明るく安全な里山林整備事業《将来まで守り育てる里山林整備》）

○足利市寺岡地区（明るく安全な里山林整備事業《将来まで守り育てる里山林整備》）

○佐野市三好地区（同上《野生獣害被害軽減》）

手入れ不足の森林と、間伐により明るく生まれ変わった森林を見比べていただいたり、地元の方から、藪の刈払いによりイノシシによる農作物被害が軽減したことを伺ったりしました。

参加いただいた皆さんからは「県民税事業への理解が深まった」、「バスツアーを定期的を実施してほしい」などの感想が寄せられました。



里山林整備箇所(野生獣害被害軽減)
(佐野市三好地区)

主催：県南環境森林事務所
足利市
佐野市

県西地区

平成 23 年 3 月 2 日（水）、管内の環境活動実践者の方など 11 名のみなさんに御参加いただき、次の 3 箇所を視察しました。

○鹿沼市西大芦地区（とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業）

○西方町真名子地区（明るく安全な里山林整備事業《野生獣害軽減》）

○西方町金崎「道の駅にしかた」（木の香る環境づくり支援事業）

鹿沼市西大芦地区では、搬出間伐実施箇所を視察し、間伐材がベンチや学校の机、椅子として利用されることを知っていただきました。

西方町真名子地区では、野生獣を近づけないよう見通しよく整備された箇所を、「道の駅にしかた」では県産材を使用したあずまやを見ていただきました。

参加された皆さんからは、「直接説明を聞くことができ、事業を身近に感じる事ができた。」などの感想が寄せられました。



奥山林整備箇所
(鹿沼市西大芦地区)



木の香る環境づくり支援事業
「道の駅にしかた」(西方町金崎)

主催：県西環境森林事務所

期待が高まる再生可能なエネルギー

～広がり！間伐材の熱源利用～

今回は、とちぎの元気な森づくり県民税事業（森林バイオマス利用モデル交付金）等で取り組んだ、間伐材を有効に活用している県北地域のモデル事例を紹介します。

本取組の工程は、奥山林整備事業において間伐され、従来は未利用となっていた間伐材を搬出して、木質ペレット（固形燃料）に加工し、森林バイオマス（ストーブ等の熱源）として利活用する流れとなっています。

間伐



県民税事業（奥山林整備事業）
那須町内

造材・利用促進路開設



県民税事業（森林バイオマス利用モデル交付金事業）
那須町内

木質ペレット製造



木質ペレット

民間企業による取組



高圧成形



間伐材破砕

那須塩原市内

運搬



間伐材安定供給コスト支援事業
那須塩原市内

熱源利用（ペレットストーブ）



森林整備加速化・林業再生基金事業
那須町内

このように、間伐材を石油等の化石燃料の代替エネルギーとして有効に活用していくためには、間伐材の安定供給や製品の普及が不可欠です。

それには、林業関係者による木材を搬出する道の整備や間伐の団地化、また、民間企業による新製品の開発、そして利用者となる県民の皆さんの理解と協力があって実現することができます。

本モデルを参考にして、間伐材の利用が広がり身近なものになることを期待しています。

取材：栃木県県北環境森林事務所

元気な森づくり県民会議 部会だより

木づかい推進部会

「大工の棟梁に学ぶ木工教室」を開催しました

「子ども向けの木工教室はあるけれど、大人向けの木工教室がない…」
「自己流で木工工作をしていたけれども、一度プロの方に教わってみたい！」
そのような木工工作のレベルアップを望むみなさんの要望に応え、3月5日（土）に宇都宮市冒険活動センターで、元大工の棟^{とうりょう}梁を講師に招き、「木工教室」を開催しました。参加者のみなさんには、「CD ラック」を作っていました。

今回は、のみを使用するなど上級者向けの内容であったため、参加者のみなさんは、真剣に製作に取り組み、完成した作品に満足されていました。

また、「とちぎの木を使うことが栃木県の森林を元氣する」ことを学んでいただきました。



力作ぞろい！

第35回全国児童・生徒木工工作コンクール審査結果

子どもたちの木づかい活動を広く普及する、第3回子どもたちの木工工作コンクール（第35回全国児童・生徒木工工作コンクール栃木県大会）を開催し、応募作品294点の中から、入賞作品25点を決定しました。

さらに、3月6日におこなわれました第35回全国児童・生徒木工工作コンクールにて次の作品が受賞されましたので御紹介します。

文部科学大臣賞

なかよしランド



那須塩原市立三島小学校3年
矢板 大輝さん

林野庁長官賞

小学校低学年の部 颯斗の公園



那須塩原市立大原間小学校2年
室井 颯斗さん

林野庁長官賞

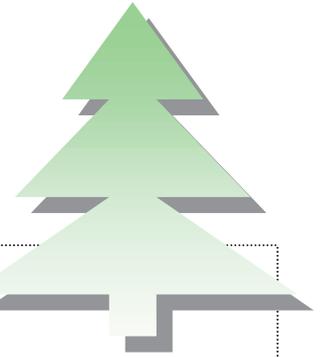
中学校の部 合体！ウォーカーギャリア



那須塩原市立高林中学校2年
根本 学さん
花塚 翔太さん
近山 潤さん



森づくりトピックス



森林環境学習指導者研修会を開催！

～実習を通して指導法を学びました～

平成23年2月4日（金）、第2回森林環境学習指導者研修会が宇都宮市森林公園管理センターで開催されました。

研修会には小・中学校教員や森林ボランティアの皆さん18名が参加しました。「自然観察を通じた緑の学習の進め方」について講義を受けた後、実際に森林公園内を歩きながら樹木の説明方法について現地研修を受けました。

また、子どもたちが楽しみながら木に親しめるよう、木の枝を使った風車製作の実習をしました。



■アンケートから

自然観察でいつもと違う発見ができた。もっとよく自然と向き合い些細な発見をしていきたい。木工も楽しかった。早速クラスの子どもたちにやらせてあげたい。

栃木県みどりと環境のコンクール表彰式を開催！

平成23年2月10日（木）、栃木県公館（宇都宮市）で、平成22年度栃木県みどりと環境のコンクール表彰式が開催され、緑化部門では、それぞれ下記のコンクールの入賞者90名（学校）が表彰を受けました。



- 緑化運動テーマコンクール
- 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
- 学校関係緑化コンクール
- 国土緑化運動・育樹運動標語コンクール
（主催：（社）国土緑化推進機構）
- 山火事予防ポスター用原画・標語コンクール
（主催：（財）日本森林林業振興会）

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
小学校の部 最優秀賞
関口 杏梨紗さん
（栃木市立栃木中央小学校5年）

つたえよう みどりをそだてる たいせつさ

緑化運動テーマコンクール 最優秀賞
林 泉穂さん（鹿沼市立北押原小学校2年）

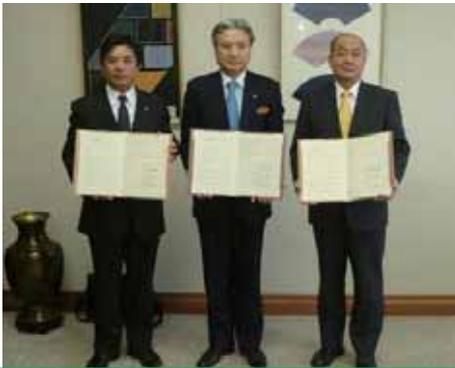
森づくりに関する協定を締結しました！

～下野新聞「とちぎ森づくり通信」プロジェクトメンバー、和光堂(株)～

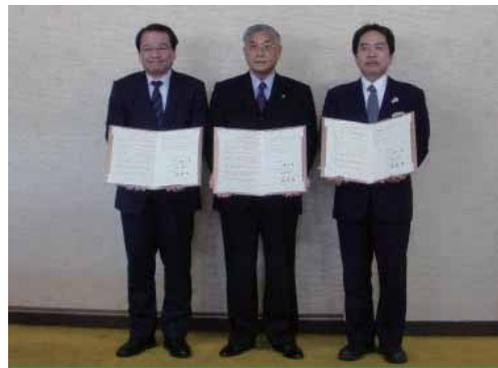
平成23年2月15日(火)、県庁で県内外の34企業(団体)から構成される「下野新聞『とちぎ森づくり通信』プロジェクトメンバー」と、県及び岩舟町が森づくりに関する協定を締結しました。

また、2月16日(水)には矢板市役所で、乳幼児・介護用品を製造販売する和光堂(株)と県及び矢板市が協定を締結しました。

各協定とも平成28年3月31日までを協定期間とし、平成23年春季に広葉樹の植栽を予定しています。また、協定期間中、下草刈りを実施していくこととしています。



下野新聞「とちぎ森づくり通信」
プロジェクトメンバー
活動場所等：岩舟町小野寺(町有地)0.51ha



和光堂(株)
活動場所等：矢板市長井(市有林)0.51ha

森づくりグループ交流会が開催されました！

とちぎ「森の^{がっこう}楽校」の一環として、平成23年3月5日(土)に、森づくりグループ交流会がパーティ(とちぎ男女共同参画センター(宇都宮市))で開催されました。交流会には県内で活動する森づくり団体や、県森林ボランティア会員など17名が参加しました。

はじめに、県南地区で活動する「2000年記念の森の会」と、県北地区で活動する「リュウオウフォレストパーク」から活動事例発表がありました。



その後、活動を実施する際の資金や安全管理、活動方針などについて、熱心な意見交換が交わされました。

■アンケートから

自分が実際にグループ立ち上げを仮想したときの参考になりました。



元気な森づくり伝言板



★春の緑化運動が始まります！4月1日～5月31日★

～つたえよう みどりをそだてる たいせつさ～

みどり豊かな環境を守り育て、次世代に引き継ぐため、平成23年度栃木県春季緑化運動を実施します。苗木配布会をはじめ、県内各地で緑化関連行事が開催されます。ぜひお出かけください。

春季家庭緑化用苗木配布会

市町名	配布会場	実施予定日	時間	樹種
宇都宮市	栃木県庁県民広場	4月18日(月)	10:30	シモツケ
高根沢町	高根沢町役場駐車場	4月20日(水)	10:00	サザンカ
茂木町	道の駅もてぎ	4月29日(金・祝)	11:00	シモツケ
足利市	いわい緑地	5月8日(日)	10:00	アキグミ
佐野市(佐野地区)	佐野市文化会館	5月13日(金)	9:30	キリシマツツジ
佐野市(田沼地区)	アリーナたぬま	5月13日(金)	9:30	キリシマツツジ
佐野市(葛生地区)	葛生あくとプラザ	5月13日(金)	9:30	キリシマツツジ
鹿沼市	まちの駅「新鹿沼宿」	5月14日(土)	11:00	ヤブツバキ
大田原市	大田原市ふれあいの丘	5月20日(金)	10:00	イロハモミジ
壬生町	壬生町立稲葉小学校	6月5日(日)	未定	シモツケ

※実施日・時間は変更されることがありますので、詳しくは各市町にお問い合わせください。

200万県民 1人1本 木を植えて育てよう

★森林ボランティア会員に登録しませんか？★

県は、「森林ボランティア会員」を募集しています。森林ボランティアとして登録いただくと、森づくりに関する各種活動情報を掲載した情報紙（グリーンウェーブ）を郵送（またはメール送付）します。

平成23年3月現在、約500名の方が登録しています。自主的に森づくり活動に参加する意欲のある方ならどなたでも登録できますので、関心のある方は下記へ御連絡ください。

■お問い合わせ先

県地球温暖化対策課 028-623-3297

ホームページ www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/shinrin/ryokka/1185783977053.html



編集・発行 とちぎの元気な森づくり県民会議 平成23年3月発行

(事務局 宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林部内 Tel. 028-623-3297)

「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。